

Q67321

- For Claims 1 through 7; Cited Literature 1 through 4
- Remarks

Making store price information, as described in Cited Literature 2, into the object of the information gathering support described in Cited Literature 1, is something that could be suitably accomplished.

Furthermore, with regard to provider evaluation, see Cited Literature 3.

Furthermore, providing some products as a sample before purchase confirmation is a commonly practiced matter, as per Cited Literature 4, (0032), etc.

List of Cited Literature

1. Japanese Unexamined Patent Application Publication H11-224293
2. Obtaining lowest price information from comparison sites. Nikkei Pasokon, Japan, Nikkei BP-Sha, November 13, 2000, No. 373, 134.
3. Transaction partner information acquisition support using interrelationships. Joho Shori Gakkai Kenkyu Hokoku, Japan, The Information Processing Society, May 26, 2000, Vol. 2000, No. 45, 37-42.
4. Japanese Unexamined Patent Application Publication H11-120253

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-224293

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月17日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z

13/00

3 5 5

13/00

3 5 5

H 0 4 L 12/54

H 0 4 L 11/20

1 0 1 B

12/58

審査請求 未請求 請求項の数10 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-41153

(22) 出願日 平成10年(1998) 2月6日

(71) 出願人 598024662

小池 隆司

東京都町田市南成瀬3丁目2番地4号 サ
ンホワイトM311-14

(72) 発明者 小池 隆司

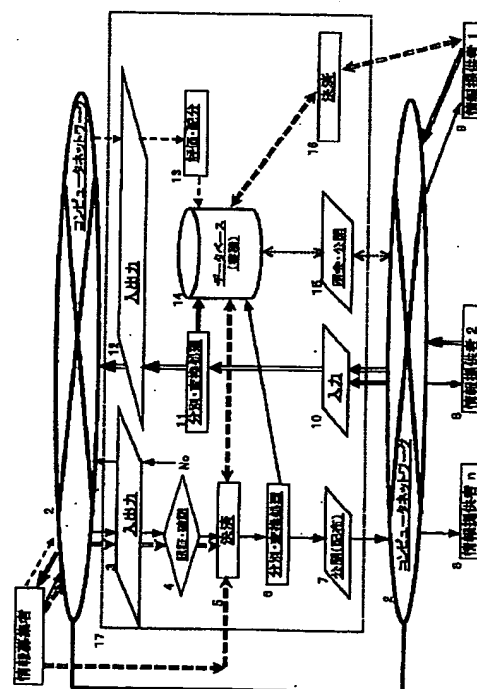
東京都町田市南成瀬3丁目2番地4号 サ
ンホワイトM311-14

(54) 【発明の名称】 情報収集支援方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークを利用し所望する情報の迅速、効率的且つ容易な取得を可能とする情報収集支援方法及びシステムの提供。

【解決手段】 情報募集者（情報レシピエント）からの募集事項と該募集事項の懸賞を認証するための認証データとからなる募集情報の入出力を行う手段3、認証手段4、情報募集者の懸賞を決済する手段5、募集情報を公表用募集情報と管理用情報に分割する手段6、公表用募集情報を公開及び／又は配布する手段7、公表用募集事項に対する応募情報を入力する手段10、入力した応募情報を募集者への分別変換処理を施す手段11、応募情報を前記募集者へ出力し、該情報に対する前記募集者の評価情報を入力する手段12、評価情報を基に情報提供者（情報ドナー）へ懸賞を配分し各情報応募者の獲得懸賞額をデータベース14に出力する手段13と、報酬の決済手段16を含む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】情報募集者の所望情報を入力し、該所望情報に懸賞情報を付加して公開又は複数端末に配布し、該所望情報に対する応募情報を情報提供者から受け取った際にこれを情報募集者に配信し、該情報募集者の評価が満足を示す時に前記情報提供者に懸賞の決済を行う、ことを特徴とする情報収集方法。

【請求項2】複数の情報処理装置がネットワーク接続されてなるシステムを利用した情報収集の方法において、

(a) 情報を欲する情報募集者からの依頼に基づき、前記情報募集者が欲する情報（「情報募集事項」という）に対して更に懸賞情報を付加し、該情報を、予め定められた1又は複数の特定者、及び／又は、1又は複数の任意の不定定者に、配布する工程、

(b) 前記情報募集者が所有する情報処理装置にネットワークを介して接続する情報処理装置において前記情報募集事項に対する応答として送られてきた応募情報から必要な情報を抽出し前記情報募集者の前記情報処理装置に送付する工程、及び、

(c) 受け取った応募情報の中から前記情報募集者の要求を満たす応募情報の提供者に対して報酬を付与する工程、

を含み、

個人が所有する情報からの円滑的な情報収集を支援するようにしたことを特徴とする情報収集支援方法。

【請求項3】複数の情報処理装置がネットワーク接続されてなるネットワークシステムを用いた情報収集システムにおいて、

情報募集者から依頼された情報募集事項に対するスコア又は懸賞額を付加し前記情報募集者を特定不能とした状態で該スコア又は懸賞額が付された情報募集事項を公開及び／又は配信する手段と、

情報提供者からの応募情報を受け付けた際に、前記応募情報を前記情報提供者を特定不能とした状態で前記情報募集者に供給する手段と、

前記応募情報の中から前記情報募集者の要求を満たす応募情報を提供した情報提供者に対して前記情報募集者による前記スコア又は懸賞額に相当する報酬を付与する手段と、

を備えたことを特徴とする情報収集システム。

【請求項4】前記応募情報を提供した情報提供者毎に前記スコアを計数管理する手段を備えたことを特徴とする請求項3記載の情報収集システム。

【請求項5】複数の情報処理装置がネットワーク接続されてなるネットワークシステムを用いた情報収集システムにおいて、

情報募集者からの募集事項と当該募集事項に懸けられた懸賞を認証するための認証データとからなる募集情報の入出力を行う手段と、

前記認証データを認証する手段と、

前記情報募集者の懸賞を決済する手段と、

前記募集情報を公表用募集情報と管理用情報に分割する手段と、

前記公表用募集情報を不特定多数に公開及び／又は特定の会員に配布する手段と、

前記公表用募集事項に対する応募情報を入力する手段と、

前記入力した応募情報を募集者へ分別処理し必要に応じて情報提供者の在処を秘匿するように所定の処理を施す手段と、

前記分別処理された応募情報を前記募集者に出力し、該情報に対する前記募集者の評価情報を入力する手段と、前記評価情報を基に前記情報提供者への懸賞を配分し、各情報提供者の獲得懸賞額をデータベースに出力する手段と、

を備えたことを特徴とする、情報収集支援システム。

【請求項6】前記募集情報及び応募情報を前記データベースに蓄積する手段と、

前記データベースに蓄積された情報及び獲得懸賞額を照会する手段と、

前記情報提供者の要求に応じて蓄積された点数を決済する手段と、

をさらに含むことを特徴とする請求項5記載の情報収集支援システム。

【請求項7】前記懸賞のための課金を認証及び決済を電子メールに記述されたID情報を認証することにより行うことを特徴とする請求項5記載の情報収集支援システム。

【請求項8】前記懸賞のための課金の決済を、クレジットカード又は電子マネーを用いることを特徴とするある請求項5記載の情報収集支援システム。

【請求項9】前記情報募集者からの募集事項と当該募集事項に懸けられた懸賞を認証するための認証データとからなる募集情報の入出力、前記分別処理された応募情報を前記募集者への出力、及び、該情報に対する前記募集者の評価情報を入力が電子メールを介して行われる、ことを特徴とする請求項5記載のの情報収集支援システム。

【請求項10】前記公表用募集情報を不特定多数に対する公開としては、インターネットのWWW（ワールドワイドウェブ）サーバによる公開で行い、且つ、特定の会員への配布を電子メールによる配信で行う、ことを特徴とする請求項5記載の情報収集支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、コンピュータネットワークを用いて、個人が所有又は入手可能な情報を効率的に収集することを支援する方法及びシステムに関し、特に、募集情報事項に懸賞を付加して公開又は配布することにより、情報をより多数の者から迅速に収集可

能とする方法及びシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】個人、もしくは法人等の団体が所望の情報取得する方法として、

(1) 人に直接聞く；

(2) 刊行物を検索する；

(3) データベース（インターネットを含む）を検索する、及び

(4) インターネット又はパソコン通信の電子メール（E-mail）、ニュースグループ、メーリングリスト等で質問するなどの方法が用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の方法は下記記載の問題点を有している。

【0004】上記（1）の場合、収集範囲が限定され広く情報が集まらない。

【0005】上記（2）の場合、情報収集に時間がかかる上、活字化されていない情報は集まらない。

【0006】上記（3）の場合、効率的にサーチするためには専門のサーチャ等に依頼しなければならず、またデータベースの知識、検索の知識等が必要で、簡単に情報を収集することができない。さらに検索にコストがかかる上、データベースがされていない情報は収集できない。

【0007】上記（4）の場合、質問に答えてくれる人は、ボランティアであるために、質及び量において乏しく、また匿名性に欠けるため、密かに情報収集することができない。

【0008】すなわち、従来の情報収集方法においては、個人が所有している情報を、効率的に引き出し、その有効活用を図るためのシステムが存在せず、個人が持っている情報は、軽視されがちであり、これらの個人の有する情報を相互に有効利用を図るための特定のシステムの具現化は未だ実現されていない、というのが実状である。

【0009】ところで、情報収集に際して、広範囲性、高速性、高品質性、匿名性を兼ね備えたシステムが実現できれば、インターネット等のネットワーク環境をさらに有効利用することになる。

【0010】後の説明でも明らかとされるように、本発明は、かかる技術的課題を本発明者が認識し鋭意研究した結果創案されたものであって、情報収集の際して、広範囲性、高速性、高品質、匿名性などセキュリティを保障するシステム及び方法を提供することをその目的とする。

【0011】

【発明を解決するための手段】前記目的を達成するために、本発明は、情報募集者（情報レシビエント）が所望情報（欲する情報や質問等）を入力し、該所望情報に懸賞情報を付加して公開又は複数端末に配布し、該所

望情報に対する応募情報を情報提供者（情報ドナー）から受け取った際にこれを情報募集者に配信し、該情報募集者の評価が満足を示す時に前記情報提供者に懸賞（報酬）の決済を行う、ことを特徴としたものである。

【0012】また、本発明は、複数の情報処理装置がネットワーク接続されてなるネットワークシステムを用いた情報収集システムにおいて、情報募集者（情報レシビエント）から依頼された情報募集事項に対するスコア又は懸賞情報を付加し前記情報募集者を特定不能とした状態で該スコア又は懸賞が付された情報募集事項を公開及び／又は配信する手段と、情報提供者（情報ドナー）からの応募情報を受け付けた際に、前記応募情報を前記情報提供者を特定不能とした状態で前記情報募集者に供給する手段と、前記応募情報の中から前記情報者の要求を満たす応募情報を提供した情報提供者に対して前記情報募集者による前記スコア又は懸賞に相当する報酬を付与する手段と、を備える。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明のシステムは、その好ましい実施の形態において、情報募集者（情報レシビエント）からの募集事項と当該募集事項に懸けられた懸賞を認証するための認証データとからなる募集情報の入出力を行う入出力手段（図1の3）と、認証データを認証及び確認する手段（図1の4）と、情報募集者（情報ドナー）の懸賞を決済する決済手段（図1の5）と、募集情報を公表用募集情報と管理用情報に分割する分別・変換処理手段（図1の6）を、備え、管理用情報はデータベース（図1の14）に蓄積される。本発明の実施の形態においては、懸賞に替えて、募集情報の重要度等の指標を表すスコア（得点）を付加する構成としてもよい。

【0014】そして、本発明は、その好ましい実施の形態において、公表用募集情報を不特定多数に公開及び／又は特定の会員に配布する公開・配布手段（図1の7）と、公表用募集事項に対する応募情報を入力する入力手段（図1の10）と、入力した応募情報を情報募集者へ分別処理し必要に応じて情報提供者の在処を秘匿するように所定の変換処理を施す分別・変換処理手段（図1の11）と、応募情報を前記募集者に出力し、該情報に対する前記募集者の評価情報を入力する入出力手段（図1の12）、評価情報を基に前記情報提供者への懸賞を配分し各情報提供者の獲得懸賞額をデータベース（図1の14）に出力する評価・配分手段（図1の13）と、報酬の決済手段（図1の16）とを含む。

【0015】本発明は、その好ましい実施の形態において、（a）所望する情報に、懸賞を懸けて情報を収集すること、（b）コンピュータネットワークにて情報を流通させること、（c）ネットワーク上での認証・決済システムと、を組み合わせることにより、人的リソース、及び人的データベース、から効率的に情報を収集できるようにしたものである。

【0016】すなわち、WWWサーバ、データベースサーバ及び電子メール等を用いたネットワークシステム上において、懸賞を懸けられた情報（募集情報）を公開・配布し、当該募集情報に対する応募情報を高速且つ効率的に情報募集者に転送し、且つこれらの懸賞の決済が、ネットワークにおける認証及び決済システムを用いて効率的に行われることにより、個人が有する情報を高率的に流通させることができる。

【0017】本発明の方法及びシステムにおいて、情報提供者はコンピュータではなく人（システムの利用者）であるため、様々な質問ができ、さらに、あいまいな質問、すなわち、質問自体が明瞭に定義されていないような質問事項に対しても回答なりアドバイスが得られるチャンスが増大する。

【0018】さらに、データベースとしてすでに格納化されている情報も、人を通して入手することができるため、懸賞額により様々な情報を入手することが可能になる。

【0019】すなわち、本発明においては、ネットワークで授受可能な情報に、懸賞を懸けること及び当該懸賞の認証・決済をネットワーク上で行えることにより、情報の流通を円滑に行うことができる。

【0020】さらに、懸賞の額を高額のものとした場合、高度の情報が大量且つ迅速に入手できる可能性も増大し、逆に、容易に取得可能な情報は低額で集まるという具合に、懸賞に応じて求める情報に応じて懸賞額を可変させることで、情報の質及び量を変えることができる。

【0021】本発明は、自然科学情報、人文科学情報、地域情報、人脈組織情報、画像情報などの情報収集に利用できる。

【0022】また、インターネットの環境が整っており、知的情報を提供できる大学及び行政府と情報を欲する企業との情報流通の架け橋となるシステムであり、産学官における情報の流通をより活発化にすることも可能となる。

【0023】さらに、例えば特許出願処理等の先行技術サーチのように、複数のデータベース及び出版物からの検索が必要な情報に対しても、様々な情報源からの情報収集が可能本発明のシステムを用いることにより、従来方式では容易に検索できなかった情報を入手できる可能性を増大するものである。

【0024】本発明の実施の形態について図面を参照してさらに詳細に説明する。説明を容易とするため構成要素のすべてが1つのシステムに収容している例を示したが、かかる発明はこの例に限定されるものではなく、分散型のシステム等、例えば複数のデータベース、入出力手段に分散されたシステムでも可能である。図1は、本発明の情報収集システムの好ましい実施の形態のシステム全体をブロック図にて示したものである。

【0025】図1を参照すると、コンピュータネットワーク2は、様々なプロトコルを用いたコンピュータネットワーク、例えばTCP/IPを用いたインターネット、イントラネット、IPX/SPXを用いたネットワーク、もしくは集中管理方式のパソコン通信等を用いることができる。なお本実施例では、最も接続者数が多いTCP/IP方式のインターネットを用いている。

【0026】ここで、「情報」とは、コンピュータネットワーク2で媒介できる情報でさえあれば何であってもよく、例えば、文字、画像、音声、映像等のマルチメディア情報もMIME等の規格に基づいた電子メールで媒介することにより可能となる。すなわち、デジタル化できるほとんどの情報を扱う。

【0027】また、「個人が所有する情報」とは、直接的又は間接的に個人が有している情報で、現在有しなくても、調査したり、他人に聞いたりすることによって得られる情報を含む任意の情報であってよく、特定もしくは限定されるものではない。これら情報の例を挙げれば、例えば、プログラミングのやり方、コンピュータの操作・設定の仕方、障害時の対策、実験のやり方等のノウハウに関する情報、実験データ等の技術情報、特定の機器や製品等の物に関する情報、ある学問に関する学識情報、実験データ、人物や人脈等の人にに関する人物情報、ある地域の病院や学校等に関する地域情報、風景、物、生物等の画像情報、音声などの情報、言語の翻訳情報、言葉の意味などの言語文化に関する情報、マスコミの取材のための情報等デジタル化できるすべての情報を含む。

【0028】本発明の実施の形態において、「情報募集者（情報レシピエント）」及び「情報提供者（情報ドナー）」とは、コンピュータネットワーク2を直接又は間接的に使用できる者であればよく、この条件を満たす者であれば、世界中の誰であってもよく、ネットワークの普及により原理的には何億という人が所有する情報の流通を可能としている。

【0029】また本発明の実施の形態においては、情報募集者は、欲しい情報には高い懸賞を付与することで、より質の高い、情報を得ることができ、逆に、それほど質や量を要求しない情報では、懸賞を低くすることができ、低コストで情報が得られる。

【0030】さらに、本発明の実施の形態によれば、情報提供者すなわち報酬を得るものを登録制にして、予め、その登録者の得意分野、提供可能情報のキーワード、電子メールアドレス等をデータベースに登録しておき、新たに入力された募集情報の分野、キーワードを基に該データベースから関連する登録者及び／又は電子メールアドレスを抽出し、その抽出された適任の登録者に電子メールで募集情報を配信することにより、情報の提供の質及び速度を高くすることができる。

【0031】図1を参照すると、情報募集者1からの募

集事項及び該募集事項に懸けられた懸賞を認証するための認証データからなる募集情報の入出力を行うための入出力手段3は、インターネットのWWW（ワールド・ワイド・ウェブ）サーバ（httpサーバ）、メールサーバ（SMTPサーバ及びPOPサーバ）等のコンピュータネットワーク特にインターネットで用いられる入出力手段である。

【0032】ここで、「募集事項」とは、欲しい情報、すなわち質問事項であり、テキスト文書、HTML文書、画像、音声等のマルチメディア情報等のWWWや電子メールにおいてやり取りできる情報である。

【0033】「認証データ」とは、懸賞を決済するためのデータ、例えば該懸賞に相当するプリペイドカード又は電子マネー等のIDデータ、会員のIDコード及びパスワードに関するデータである。これらのデータは、秘密暗号方式、公開鍵暗号方式等により秘匿処理されてコンピュータネットワークにより送受信されるか、電話、FAX、プリペイド型スクラッチカードにより配信することができる。

【0034】該懸賞認証データを認証及び確認する手段4は、入力された認証データが正規のものかどうか確認し決済するものであり、入力されたIDデータが、情報収集システムのデータベース14、又は、外部の電子マネー等の認証機関のデータベースに蓄積されている認証データと一致するか否か、未使用なものであるか否か等を確認し、この認証・確認処理の結果、不正、或いは間違っただけの場合には、送信された募集情報を情報提供者1に返信し、正当なものならば、決済処理5する。

【0035】本発明の実施の形態においては、外部の認証機関を用いることも可能であり、この場合、認証データを当該認証機関を通じて認証確認及び決済を行う。

【0036】情報募集者から懸賞を決済する手段5、16は、クレジットカードによる決済、ビットキャッシュ等のプリペイドカードによる決済、電子マネー決済等インターネット上で行われる決済手段等の何れであってもよい。また、予め会員登録により、郵送等でクレジットカード等の番号に変わる会員に与えたIDとパスワード等により決済するようにしてもよい。

【0037】ここで、「懸賞」とは、情報提供者に対して支払われる懸賞であるが、事務手数料等運営に必要な費用が含まれてもよい。また、懸賞は金額でなくても、スコア（得点）を用いて、後ほどそのスコアを金銭、物、情報等に換算することにより決済してもよい。特に、組織内で情報交流の活性化及び／又は人事評価（質が高い情報を沢山他人に提供し、多くの懸賞を獲得した人に対して高い評価を与える。）のために用いられる場合は、懸賞ではなく、スコア（得点）を用いる方が好ましい。

【0038】このように、プリペイドカードや電子マネー

ーにより与えられたID、暗号及び／又はパスワードを載せた秘密化又は非秘密化の電子メールを媒介として決済するか、或いは、WWWサーバ上での直接のやり取りにて行う。これらの決済処理及び操作は、直接、情報募集者が行わずに、代行するようにしてもよいことは勿論である。

【0039】再び図1を参照すると、募集情報を公表用募集情報と管理用情報に分割変換処理する分割・変換処理手段6は、募集情報を認証データと募集事項に分割し、認証データと募集事項の各々に、同じID、発行日、期限、懸賞額、評価基準等のデータを割り振る（書き込む）ことにより、公表用募集情報と管理情報に変換する機能を備えている。ただし、募集がWWWサーバを介しての募集である場合には、予め公表用募集情報と管理情報に変換処理することが可能である。ファイルの分割、書き込み等は通常よく用いられる方法、例えばオペレーティングシステムUnixに実装されるawkやperlなどのテキスト処理系の言語及び／又は命令を用いる方法でよい。

【0040】募集事項及び懸賞額を不特定多数に配布する手段（公開手段）7は、インターネットのWWWサーバ上に設けたホームページにての公開又はメーリングリスト、ニュースグループなどインターネットを介して配布するものである。また、新聞や雑誌等の活字メディア、有線及び又は無線のテレビやラジオ等のメディアなど、不特定多数の人に宣伝する手段も含むことは勿論である。

【0041】募集事項及び懸賞額を特定の会員に配布する手段（配布手段）7は、予め又は応募の後に、電子メールのアカウント（アドレス）と得意分野、居住地域などの情報提供可能な情報のキーワードを登録しておいたデータベース上の情報を基に、応募情報事項の分野に関する会員を抽出し、当該会員に電子メールにて、公表用募集情報を配布する。

【0042】分別・変換処理手段11は、情報提供者8、9からネットワーク2を経て入力手段10を介して入力された応募情報を、分別処理及び／又は変換処理するものであり、応募情報の必要事項を電子メール形式に変換し、応募情報がどの募集情報に対するものであるかを識別し、情報提供者のメールアドレス（from:情報）を削除変換し、メールのヘッダーに書き込む手段であり、電子メールでの提供者への送信、情報提供者の特定不能、データベースへの蓄積のために行われる。ただし、電子メール送信のためには、ヘッダー情報を書き換えることなしに、メールサーバ例えばsendmail等の命令の引数として直接アドレスを与えたり、別名（aliases）を用いてメールを送信するなど、通常よく行われる方法を用いることができる。

【0043】入出力手段12は、当該分別変換処理された応募情報を募集者に出力（納品）するとともに、該出

力した情報に対する評価情報を募集者から入力する。募集者へ応募情報を出力する際、応募情報のノイズを少なくするために、募集情報中のキーワードを用いて応募情報をフィルターにかけて、関係しないノイズ情報を取り除くなどの手段を行ってもよいことは勿論のことである。

【0044】評価・配分手段13は、評価情報を基に提供者への懸賞を配分し、点数化してデータベース14に蓄積する。蓄積された点数は、金銭や物品と交換又は新たな情報募集のために再利用されてもよい。

【0045】データベース14は、募集者のメールアドレス等の情報、質問事項、懸賞、期限等の募集情報、認証・決済のためのIDの情報、募集事項に対する応募情報、登録された情報提供者（情報ドナー）の得意分野、提供可能な情報のキーワード、電子メールアドレス、住所、氏名、振込先の銀行口座等の情報、獲得懸賞額の情報、応募情報に対する評価情報等を蓄積する。情報によってはコンピュータネットワークを介して閲覧可能にしてもよい。

【0046】照会・公開手段15は、データベース14に蓄積された情報及び獲得懸賞額の照会及び公開するための手段であり、例えば、インターネットWWWサーバとデータベースサーバから構成される。

【0047】照会・公開手段15は、データベース14に蓄積された各応募会員の獲得賞金、一定期間経過した募集事項及びその応募情報をコンピュータネットワーク2にて公開する。また照会された獲得賞金額を確認して、賞金獲得者は獲得賞金を請求することができる。さらに、照会・公開手段15は、一定期間経過した募集事項及び応募情報を公開することにより、応募情報の質を向上させる。

【0048】決済手段16は、情報提供者の請求に応じてデータベース14に蓄積された懸賞を決済するための手段である。すなわち獲得賞金を賞金獲得者に決済するためのものであり、銀行口座への振り込み、電子マネー等、公知の方法を用いて決済処理を行う。

【0049】本発明の実施の形態において、懸賞は、情報募集者による情報の質の評価及び／又は情報提供の速さにより評価することにより、競争原理が働き、より質が高く、高速な情報収集を行うことができる。

【0050】

【実施例】上記した発明の実施の形態についてさらに詳細に説明すべく、本発明の実施例について図面を参照して以下に説明する。図1は、本発明の一実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【0051】図1を参照すると、本発明の一実施例において、情報収集支援システムは、第1の入出力手段3と、認証・確認手段4と、第1の決済手段5と、第1の分別・変換処理手段6と、公開・配布手段7と、入力手段10と、第2の分別・変換処理手段11と、第2の入

出力手段12と、評価・分配手段13と、データベース14と、照会・公開手段15と、第2の決済手段16と、を備え、コンピュータネットワーク2を介して情報募集者1、複数の情報提供者8、9に接続される。

【0052】情報を欲する者、すなわち情報募集者1は、インターネット等のコンピュータネットワーク2を通して、WWWサーバやメールサーバ等の第1の入出力手段3に募集情報（募集事項+認証データ）を出力する。

10 【0053】第1の入出力手段3に入力された募集情報は、認証確認手段3において、認証データが正しいか否かが確認され、正しくない場合には募集情報は募集者に返送され、一方、認証データが正しい場合には、第1の決済手段5により認証データを基に、決済手段5で決済処理が行われる。

【0054】次に、第1の分割・変換処理手段6にて、募集情報を認証データと募集事項に分割し、それぞれ同じID、発行日、期限、懸賞額、評価基準等のデータを割り振る（書き込む）ことによりそれぞれ公表用募集情報と管理情報に変換し、公表用情報はWWWサーバ及びメールサーバによる公開手段7にてインターネット等のコンピュータネットワーク2を通して公表・配布され、管理情報はデータベース14に蓄積され後の処理に利用される。

【0055】公表又は配布された応募情報に回答可能な情報提供者8、9は、インターネットのWWWサーバにアクセス又は電子メールにて応募情報を入力手段10に送信する。

30 【0056】入力された応募情報は、第2の分別・変換処理手段11にて、どの募集情報に対する応募情報かにより分別され、第2の入出力手段1により2電子メールにてインターネット2を介して情報募集者1に送信する。

【0057】複数の情報提供者8、9からの各応募情報について情報募集者1に送信すると共に、評価用のシートも添付し、情報募集者1側では、情報提供者8、9から送信された応募情報に対する内容及び応答速度等に基づき取得した応募情報に対する満足度を評価の上、返送する。

40 【0058】情報提供者1からの評価情報をメールサーバからなる第2の入出力手段12で入力した際に、該評価情報を評価・分配手段12に渡し、評価・分配手段12では、応募に対する期限が経過した時点で評価し、懸賞の獲得額を、一又は複数の情報提供者に分配してその結果をデータベース14に蓄積する。

【0059】データベース14に蓄積された獲得懸賞は、インターネット2を通じて、WWWサーバの照会・公開手段14で応募会員のIDとパスワードを確認の上、獲得懸賞額の確認を行う。

50 【0060】また、照会・公開手段15では、応募情報

及び募集情報の公開を一定期間後に行い、蓄積される相乗効果による情報の質の向上を図る。

【0061】懸賞を獲得した情報提供者は、決済手段 16 に、電子メール、電話、もしくはファクシミリ伝送等により連絡することにより、獲得懸賞が電子マネー又は銀行振込等の手段により支払われる。

【0062】本発明の別の実施例として、例えば情報募集者（人又は組織）に対して予めスコアを賦与しておき、情報提供者が、上記した情報収集支援システム 17 を利用して情報提供をいかほど行っているかを、情報募集者から情報提供者に与えられた報酬（スコア）の累計で評価し、情報応募の貢献度を、例えば研究活動の評価の一部として利用するようにしてもよい。

【0063】以上、本発明の一実施例について説明してきたが、本発明は、上記実施例の構成にのみ限定されるものでなく、本発明の原理に準ずる各種形態、変形を含むことは勿論である。

【0064】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、下記記載の効果を奏する。

【0065】本発明によれば、個人が所有するデータをコンピュータネットワークを通して効率的に収集することができ、情報の有効活用、情報検索の効率化を達成することができるという効果を奏するものであり、その実用的価値は極めて高い。

【0066】また従来方式では、活字化、データベース化されていない技術、人脈、経営に関する情報を取得するには、高いコストと労力が必要であったが、本発明によれば、極めて容易且つ安価にこれらの情報が取得可能としている。

【0067】また、従来、知識がある人、沢山の情報を持った人は、それを有効に生かす方法が少なく知識に見

合う報酬を得ることが少なかった。本発明によれば、情報提供者は、情報募集の募集情報（質問）に対する情報の提供と引き換えに、報酬を得ることができ、さらに本発明のシステムを介して決済処理等がなされるために、報酬を得ることも容易となり、円滑な情報の流通を可能とするものである。

【0068】本発明のシステムでは、情報収集者は匿名で情報を募集（質問）することができるので、情報を収集していることを知られることからくる、不利益、恥じらいが生ぜず、応募する方も同様にというように、情報の流通を円滑に行うことができる。

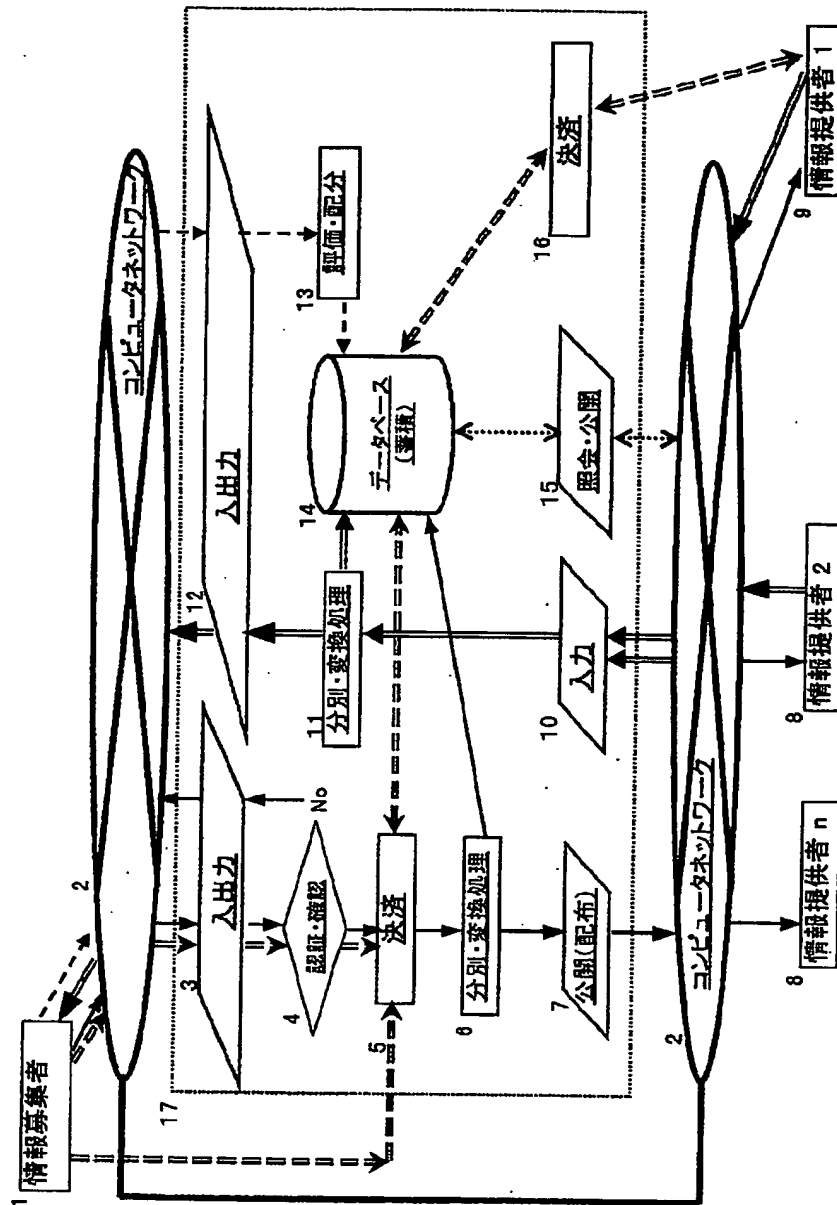
【図面の簡単な説明】

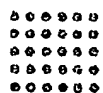
【図 1】本発明の一実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 情報募集者
- 2 コンピュータネットワーク
- 3 入出力手段
- 4 認証・確認手段
- 5 決済手段
- 6 分別・変換処理手段
- 7 公開・配布手段
- 8 情報提供者
- 9 情報提供者・懸賞獲得者
- 10 入力手段
- 11 分別・変換処理手段
- 12 入出力手段
- 13 評価・分配手段
- 14 データベース
- 15 照会・公開手段
- 16 決済手段
- 17 情報収集支援システム

【図1】

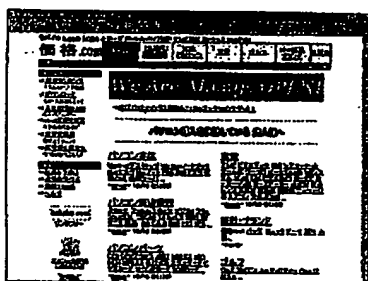




比較サイトで最安価格情報を入手

なるべくパソコンを安く購入しようとなると、ちょっと前までは複数の販売店を歩き回って価格をチェックするしかなかった。今は販売店サイトを通じて価格を知ることができる。それでもいちいち販売店サイトにアクセスして調べるのはやはり面倒に感じる。そこで、販売店の情報をまとめて紹介、パソコンの実売価格を簡単に比較できるようにしたWebサイトを利用するといい(下の表)。

こうしたサイトとして有名なのが、カカクコム「¥価格.COM¥」(下の図)。ラオックスやヨドバシカメラなどの大型量販店よりも安く販売するパソコンショップに絞って価格情報を掲載している。製品ごとに最安値で販売しているショップを表示したり、最安値の更新を電子メールで通知する機能もある。パソコン本体だけでなく、周辺機器やパーツ、ソフトに関する価格情



パソコンや周辺機器などの安価情報を紹介するカカクコムの「¥価格.COM¥」

報も提供している。

実際、「¥価格.COM¥」で紹介されている価格は安い。例えば、ソニーの液晶デスクトップ「VAIO PCV-LX50G」の10月下旬の実売価格を見ると、大型量販店では24万9800円だったが、「¥価格.COM¥」に掲載されているショップの中には22万9000円と、2万円以上安くしている店があった。

ただし、こうしたショップは店舗運営に経費をかけないことで、安い価格を実現している。したがって、電話相談や出張セットアップ、落下・盗難対応の保険など、大型量販店が実施しているサービスは望めない。ショップによっては初期不良についてもメーカー対応にしている。購入時にはどこまでショップが責任範囲としているのか、確認しておいた方がいいだろう。

販売店サイトを横断的に検索する

フレッシュアイの「Brand (ドットブランド)」は、複数の販売店サイトをまとめて検索できる。検索対象となるパソコン関連の販売店サイトはソフマップや上新電機など12店。モデル名でキーワード検索すれば、各販売店サイトの価格を調べられる。

また、「Brand」は、キーワード検索だけでなく、仕様や価格帯による検索

機能も備えている。例えば、ノートではCPUやハードディスク容量、ディスプレイサイズなどに加えて、重さやバッテリー駆動時間による検索も可能だ。このため、販売店の価格を比較するだけではなく、自分の希望する性能を持つパソコンをピックアップするといった使い方もある。

プライスサーチの「格安パソコン探偵団」は、複数のパソコンショップに無料でパソコン情報の問い合わせができるWebサービスだ。

まずユーザーがWeb画面上でメーカーや仕様、OSや付属ソフト、予算などを記入した見積依頼書を作成する。これをプライスサーチが「格安パソコン探偵団」に参加する約30社のショップに配信する。その後、ショップから電子メールで仕様や価格、購入条件などをまとめた回答が送られてくる。これを参考にして、ユーザーは購入先を検討できる。

中小メーカーやショップの情報を提供しているWebサイトもある。イーアリーの「AKIBA PC eArena」だ。東京・秋葉原を基盤とする14のメーカーやショップが集まっている。各社のオリジナルパソコンの仕様や価格が一覧できるほか、CPUやマザーボードといったパーツ類、自作用の組み立てキットなどの情報もある。

●パソコンに関する主な比較サイト

サイト名	URL	特徴
カカクコム	¥価格.COM¥ http://kakaku.com/	法人向け見積もり依頼サービスも提供する
イーアリーナ	AKIBA PC eArena http://impress.earena.co.jp/	中小メーカーやショップのオリジナルパソコンを比較できる
フレッシュアイ	Brand http://www.freshave.com/	複数の販売店サイトで同時にパソコンの実売価格を検索できる
プライスサーチ	格安パソコン探偵団 http://www.price-search.com/pc/	複数のパソコンショップに価格の見積もりを依頼できる